

高退協ニュース

No. 183
2013年
7月2日

発行
高退協局
高知事務
高知高事

〒780-0850

高知県高等学校退職教職員協議会
高知市丸の内2丁目1番10号
高知城ホール高教組気付
連絡先 Tel 088-822-6822
郵便振替口座〇一六五〇二二一八九三

死守したい 日本国憲法

「われらとわれらの子孫のために」

高退協顧問 岡崎 清恵

私の書架には、日本国憲法関係の本が三十数冊並んでいる。中には同じ本が二、三冊もある。岩波全書や岩波新書、新日本出版のものが主である。日本国憲法への愛着は今でも変わっていない。むしろ強くなっている。

というのも、私は一九三〇年生まれで、一九四五年八月迄の一五年間、軍国少年として育てられたからである。「神州不滅」「忠君愛国」「尺忠報国」「質実剛健」といった「四字熟語」での軍国主義、超国家主義教育を徹底してたたきこまれ、隣国の朝鮮人や中国人を軽蔑し、「鬼畜米英」と白人敵視の思想を身につけさせられた。

みんなで憲法の緊急学習会を成功させましょう！

参議院選を控え、自民党の発表した「日本国憲法改正草案」の中身を学習します。皆さんの参加をお願いします。

日時 7月6日(土) 15:00~17:00

会場 高知市役所鷹匠庁舎2F大会議室

に戦死するか」から「生き抜いて、平和、民主、文化国家の主権者となれ」と教えられ、正に前途洋々たる思いになり、憲法前文や九七条などは英語でも暗唱できるようにになった。幸い、中学校で英語を習い、それに興味があつたので、大学の英米学科に入学、そこで世界文学に開眼し、国際連帯や、平和、民主主義の尊さをまなぶことができた。

一方、「法」に関心をもち、「法学ゼミ」を採り、「権利のための闘争」こそ正義を守る武器であることを「乾いた砂に清水の浸みるように」思想化できた。

当時、「全面講和」要求運動や、「破防法反対」のデモなどによく参加したものだ。一九五五年四月、本県の英語教師に任用されると、高等教組に加入した。やがて、「全入闘争」を皮切りに勤評、安保、学テ、講習会反対闘争に参加し、仲間にも推されて高知教組や県教組の役員になった。

「教え子を再び戦場に送るな」「勤評は戦争への一里塚」のスローガンの下に、全県で繰り広げられた、昭和の自由民権運動といわれた勤評闘争で、いっそう「団結の力」を確信するようになった。

この激しい勤評闘争の教訓として確認しあつた「教師の三つの任務」の実践がその後、私の生き方の原点となり、在職中はもとより、定年退職後、今日まで一貫した生活信条となっている。公民館活動、交通安全運動、街づくり運動に参加し、今日でも頑張っている。

それが、敗戦を契機に百八十度転換し、日本国憲法と教育基本法の精神に基づく、平和、民主、人権尊重の教育をうけるようになり、戦争中の「いかに多くの敵を殺し立派

昨年四月に成文化された「自民党改憲案」なるものを

8・15戦争を語りつぐつとい

シンポジウム
「中曾根康弘氏と従軍慰安婦問題」
藤原義一（草の家・学芸員）

「8・15韓国解放50年光復節記念式典に参加して」中川有紀（幡多高校生ゼミ元会長）

「日・韓高校生交流で学んだこと」
山下正寿（幡多高校生ゼミ・顧問）

とき 8月15日(木) 10:00~12:00
ところ 人権啓発センター6Fホール
資料代 500円

参議院選で 私たちの意志を示そう！

國松 勝

参議院選が迫ってまいりました。こんどの選挙は日本のあり方が問われる極めて重要な選挙となっております。改憲を許す道を開くかどうか。無謀なアベノミクスや原発稼働、TPP、侵略戦争肯定の歴史認識など安倍政権の暴走を許すかどうか問われる選挙です。

安倍首相は、今度の参議院選で改憲勢力が三分の二以上の議席を確保すれば、憲法96条を改悪し発議要件を過半数に緩和することを公言しています。こうなれば衆参議院で過半数を取った政党が自由に憲法を改正できることになり、権力が憲法によって規制されるといふ立憲主義が崩れ、憲法が憲法でなくなり、国家権力の暴走を許してしまうことになりかねません。

改憲論者でさえ安倍首相の公言に対し、公然と反対の声を上げています。

わたしたちは、平和憲法とその精神を具体化した教育基本法に基づき、再び子どもたちを戦場に送ってはならないという共通の想いで教育労働者として、勤評・安保に反対し、弾圧と処分にも耐え頑張りてきました。いま、改憲論者たちは憲法を変え国防軍を創設し、非常事態宣言を発動し、基本的人権や国民主権に制限を加え、軍政の支配下に置くことも想定内に置き、改憲草案を発表しています。このようなことは命を懸けても認めはなりません。

高退協は政党支持、政治活動は自由です。今日の政治情勢の下で老後の暮らしや日本の行く末を想い、子どもや孫たちのより良い暮らしや社会の実現のため、共通の要求や想いを大切にし、わたしたちの意志をしっかりと示そうではありませんか。参議院選挙を前に、心から訴えます。

全日本退職教職員連絡協議会 第23回定期総会 退教の活動のポイント

「楽しみ7・運動8」

橋元 陽一

6月5・6日の2日間、熱海市で47退教3名の参加で開催されました。5日は全体会と夜は懇親会、翌日は5つの分散会が行われ、議案を深める意見交換が行われました。全退教は結成21年目を迎え、昨年宮城高退教の加盟で、36都道府県49退教、会員が26000人を超える全国組織になっています。全大会では「憲法と日米安保」と題して、安保廃棄中央実行委員会事務局長の東森英男氏（元全教書記長）が、今の憲法改定の背景を日米安保条約との関わりから分析追求した記念ミニ講演がありました。

昨年度の活動の総括では、①全国的な行事として結成20周年記念行事や第18回全退教ツアーなどの取り組み②暮らしと平和、子どもと教育を守る活動③会員が主人公の日常活動④組織強化と会員増やしの取り組み⑤幹事会の課題など5つの柱について報告と決算報告があり、そして2013年度の活動方針と予算案が提案されました。全国各地で憲法改定を許さないとりくみ、東北大震災復興支援活動、原発再稼働を許さない活動、大阪橋

下徹市政に対するとりくみ、年金や医療、生活擁護に対する取り組みなど実に多面的な活動が展開されていることや、各退教独自で会員の趣味や特技を生かした活動も取り組まれていることが報告交流されました。

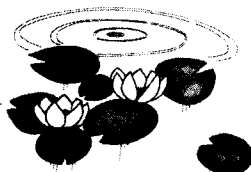
また翌日の分散会では仲間増やしの課題や組織財政に関わる問題でも組織と活動を発展させていく視点で、集中的に討論が行われました。退教の活動のポイントは「楽しみ7：運動3」とか、いや「楽しみ8：運動2」だとワイワイ議論しながら、退職する仲間、現職の仲間から羨ましがられるような魅力的な退教の活動のあり方

温泉昼食会案内

日時 10月11日(金)
場所 三翠園 11時～

り方が追求されました。また財政問題では各退教も全退教も厳しい状況にある中、分担から補助を受けていくことなどを早期に見直していく方向で意見交換が行われました。

旅館で同室になった長崎高退教の萩谷会長は、幡多ゼミの山下正寿さん、埼玉ゼミの小岩井さん、広島ゼミの沢野さんと共に活動された長崎の高校生ゼミの指導者の一人でした。幡多ゼミが長崎とビキニで2重被曝をして苦しんで自らの命を絶たれて藤井節也さんの聞き取り調査をしたときの受け入れをしていただいた方で、懐かしい出合いを後にして帰路につきましました。



原野から雑木を伐採し ゆずの植え付け

前田 節雄

早期退職後、祖父の代以来50数年ぶりに専業農家に転身しました。現在の耕作面積は米55アール、果樹(ゆず)32アールを栽培しています。在職中も米作りは30年以上続けていましたが、果樹栽培は初めてで、試行錯誤を繰り返しながら、何とか2年前から収穫できるようになりました。

農業はTPP参加や就業者の高齢化等、たいへんな課題を抱えているのが現状です。私のように50代後半から本格的に始めたものにとっては肉体的には確かにきついものの、精神的にはまだゆとりがあります。30代、40代で職業として家族を支えるとなるとそれ相応の覚悟を必要とすると思います。

戦後の高度成長経済の中で、あまりにも急激な産業構造の変化は特に地方の農山村の廃をもたらし、集落の消滅に

つながってきました。林業においても、1960年ごろ木材の関税が撤廃された後、外国産材に押され、国内に伐採期を向かえた多くの人工林がありながら、建材等への供給は20%以下になっています。

TPPに参加することにより、農業の将来にも大変危惧しているところです。最近、政府はよく攻めの農業をアピールしています。就業年齢が60代が主流の農家がどうやって海外の耕作面積が、日本の100倍以上の国と競争できるのでしょうか。口でうまいことを言うのはやめてもらいたい。

先に述べましたが、果樹(ゆず)32アールのうち20アールは水田に植え付けをしまし、残りの12アールは畑で栽培しています。この畑は、昭和38年頃まで土佐赤牛の飼料としてサツマイモを栽培して

いましたが、その後、必要性がなくなりそのまま耕作放棄していたものです。

原野となっていたところを8年前に一部雑木を伐採し、5年前には柚子園にするために、本格的に雑木を伐採、整備してゆずの植え付けしました。しかし、イノシシ、鹿、ウサギが害獣となつて園内を荒らすため、これらの動物の侵入を防ぐのに防獣ネットやフェンスの設置などたいへんな労力を要しました。途中、あきらめかけたこともありましたが、今は順調にゆずも生育しています。

現在、林道が開通し畑まで軽トラで来れますが、5年前は山道を歩いて1時間ぐらいかかって登ってきたように記憶しています。標高200メートルの畑からは、奈半利町や田野町、土佐湾が眺望できました。当時全部で15アールの畑を、母は畝づくりなどほとんど手作業でやっていました。今思えばこの面積を手作業でするなど、私にはとてもできません。

農作業の際、ラジオをよく聞いています。山の上にあるため携帯ラジオの感度もよく、FM、高知放送、NHKとその日の気分で見聞きしています。午後3時過ぎの休憩タイムでコーヒを飲むため、お湯は登山用のガスコンロで沸かし、チタンのコーヒーカーップにブラックコーヒを入れて飲んでいるとき、童謡「みかんの花咲く丘」が流れてきました。この歌はBS日テレでフオレスタの歌声で聞くことはありましたが、CDを持っていないわけではありません。なぜか懐かしいような気分が聞いていると、50年以上前の情景がよみがえってくるような気がしました。特に3番目の歌詞が流れたときは、2年前に他界した母の元氣な姿が思い出され、いつもは適度な苦みでうまいと感じるコーヒの味があまり感じなくなっていました。この日は少し長い休憩をとって、後の作業を終えました。

高退協旅行(予定)

日程 11月中旬・・・1泊2日
コース 石見銀山と出雲大社・
古代出雲歴史博物館
予算 約35000円

心身ともに活性化できる時間

新開 満

好きなバッハやモーツアルトの曲をピアノで弾けるようになりたい。そんな願望を抱いてから四十年、どうしても第一歩を踏み出すことができぬまま定年退職を迎えた。さてこれからどう過ごしたのかと考えた時、ふと思いついた。それがこの宿願であった。退職したら今までやったことのないことに挑戦してみたい、そんな気持ちもあったし、よしこの機にひとつピアノに挑戦してみようと思っただけだ。

ところが三月末に手術をしたもので、暫くはピアノどころではなくなり、結局挑戦の第一歩を踏み出したのは五月の連休明けであった。それも習いに行くのはなんだか気が引け、ピアノをやっている娘に大人用の初級ピアノ教本を送ってもらい、それにしたがって練習でやり始めたのであった。

最初はごく簡単な課題を弾く作業からである。何だこんなものわけないではないかと思いつきながらやり始めたのだが、五分もやると指がつかず動かなくなった。右手の課題はともかく、左手の課題ではすぐそうやってしまう。そこで五分やっつては三十分休み、また五分やる、当初はそんなことを繰り返さざるを得なかった。

この分では直ぐ嫌になつて止めてしまうことになるかなと思つた。しかし、不思議と続いていく。別段苦にならないどころか、結構面白い。退院して未だひと月足らず、基本的に家のなかで過ごすしかない身には格好の時間潰しにもなる。まあそんな状況も幸いしたのかも知れぬ。

しかしこんなふうには始まった独習による挑戦は八ヶ月で終わった。年末に帰省した娘の助言もあり、結局翌年一月からは週一回レッスンを受けることになった。

さてレッスンの初日、折角八ヶ月も取り組んだ教本なのにまだ始めからやり直しと言われた。その上独習時について悪い癖も指摘され、その矯正が第一の課題だともいわれたので、がっかりした。この分ではなんだか前途多難な再出発になりそうだなと感じ、暗い気持ちになったのだ。

しかし間もなくそんな気持ちは雲散霧消した。先生の指導態度は物柔らかく、しかも言葉に説得力があったので、こ

3年を残しての「退職」 両親の介護で 高知・浜松の頻繁な行き来

飯田 清久

いつかくるだろうと思つていたことは、急にやってきました。昨年6月頃、浜松に住む86歳になる母が介護1に、秋深まった頃には、88歳になった父親が介護4となり、以来妻の協力のもと、高知・浜松の頻繁な行き来を繰り返しながら、3年を残しての「退職」の意思を固めていったことでした。退職を決心すると、不思議なくらい、34年の歳月で出会った子どもたち、仲間、学校などの夢をいっぱい見ることができました。人の心は面白く奥深いものだと思つたことでした。

4月からフリーとなり、高知・浜松の二重生活が始まりました。月の2/3以上は浜松の生活が占めています。介護の関係では、遠隔地ということもあり、昨年の早い時期から自宅近くの高齢者福祉施設と接触を図っていたことで、現在わが家にとつて必要なサービスは何とか受けることができている。今回、両親の福祉サービス利用と生活設計を段取りしていく中で、①施設の場所や機能等、利用したい施設や支援内容の目安をつけておく ②介護保険手続きは早く始める ③信頼できるケアマネージャーをみつめて、家族の状況をリアルタイムで知っておいてもらうなどが、自分なりの教訓だと思つていきます。

ちらも自ずと耳を傾け素直に指導を受け入れる、そんなレッスンだったからだ。その上生徒のなかには同年輩の者が三人もいた。しかも一人は知人だったのだ。他の二人とも直ぐ親しくなれた。こうして好い導き手と仲間が出来たことは大きく、練習に光がさし一段と励みが出てきたのだ。

でもソナチネ程度のものは弾けるようになってきている。バッハやモーツアルトの曲も、手始めに初心者用に編曲されたものから挑戦し、最近ではインベンションやきらきら星変奏曲など原曲も何曲か弾けるようになった。無論私の演奏によつて出現するものはバッハやモーツアルトの音楽というより「のようなもの」に過ぎまいが、それでも私なりに達成感もあり、その意味では私の宿願も成就した。

無職無収入となつた今、何よりも、妻に嫌われないよう心掛け、浜松の地で明るく気楽な介護に努めたいと思つていきます。そして、時折戻ってくる高知では、みなさまと楽しいお話や盃を交わせたらと願つていきます。特に高退協の活動では、昨年度から参加させていただいて山の家と今日の重要な課題となつている憲法を守る闘いを自分なりの重点と位置付けて、自分でできることをコツコツとやっ

ていきたいと思つています。最後にになりましたが、先日の高退協の総会や励ます会では、同僚、諸先輩方からたくさん温かい励ましをいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。そしてこれからもよろしく願います。

2013年度高退協

事務局役割分担

- 発送事務・・・田所、濱田、矢野
- 会計・・・濱田、橋元
- 会員名簿・・・田所、矢野
- ニュース・・・武田・小松・島本・松山・別役
- 機関誌・・・梶原・国松・森下・倉橋・小澤・笹岡
- 慶弔・・・國松・橋元・倉橋・森下
- 夏季学習・・・田中・小松・倉橋
- 昼食旅行・・・濱田・別役・田中・小松・倉橋・笹岡
- 懇親会・・・橋元・濱田
- 望年会・・・別役・小松・濱田
- 平和運動・・・國松・森下
- 母親運動・・・別役・笹岡
- 革新懇・・・國松
- 子連・・・倉橋
- 教研・・・武田・橋元・田中
- 九条の会・・・濱田
- 憲法会議・・・國松・森下・小澤
- 幡多支部・・・橋元・田所
- 東部支部・・・三谷
- 全退協・・・三谷・橋元・倉橋
- 高齢者運動・・・小澤
- 社会保障と税の改悪反対・・・小澤
- 互助会・・・森下
- テニス・・・梶原
- 山の会・・・森下
- 読書会・・・小澤
- スキー・・・島本・松山
- 囲碁・将棋・・・森下
- カラオケ・・・小澤
- 教育3団体・・・國松、橋元、森下

・組織だつて職場の声を集め交渉・
地方公務員給与削減
に対するとりくみ

高教組委員長 竹島久美

五月十五日、県教委は「教職員の給与の減額についての条例案」を六月県議会に提出するとして、給与月額と期末勤勉手当を削減するとの提示をしました。高教組では全教職員に二色刷りの削減反対ビラを配布し「給与の削減撤回を求める署名」への協力を求めました。六月三日に課長交渉、七日に教育長交渉を行い、その後の県職労の交渉を経て、一時金カットの撤回、給与連動型の手当て

の方向と、組合に入っていない人が「ありがたい」と言っている。高教組では全教職員に二色刷りの削減反対ビラを配布し「給与の削減撤回を求める署名」への協力を求めました。六月三日に課長交渉、七日に教育長交渉を行い、その後の県職労の交渉を経て、一時金カットの撤回、給与連動型の手当て

高退協夏季学習会ご案内

日時 8月29日(木)
 会場 高知城ホール 2F 会議室
 日程 14:30～受付
 15:00～17:00講演・学習会
 内容 ①一生涯学んで
 ～数学にかける情熱はどこから～
 講師 土居 康男
 ②多くの盲人が音楽家として
 生きた時代の物語
 講師 正岡 光雄
 懇親会 17:30～ 高知城ホール

おぼろげでも、
 大切な思い出

横田 慧

ときは六〇年近くもまえ、大学自治会の企画の、日中友好・不再戦キャンペーンで、清水寺の和尚さんを訪問しました。のちに五つ子の名付け親として有名になった、大西良慶さんが会ってくれました。大西さんはもちろん日中友好に大賛成で多額のカンパも戴きましたが、そのときの雑談めいた「説教」が忘れられません。一つは、「道を歩め、路に踏み入るな」でした。もう一つは、「雑草取りが、仏道の極意」（という主旨）でした。主旨とことわったのは、記憶が「おぼろげ」だからです。

道と路の話は、もちろん哲学的な教えですが、私がクルマに乗るようになって、渋滞のときイラれた人が、多く脇道へ流れ込んで行くのを見かけて、この話を思い出しました。今では、コンピューターを駆使して、道路の混み具合を瞬時に情報として流し

てくれるサービスもあるようですが、私は、気長に「道」にとどまって「路」に踏み入ることはしません。

雑草引きの話は、あれから二〇年後、私が三九歳になった時思い知らされました。安芸の河原に自生している、スミレ草の美しさに惹かれ、数本持ち帰って庭に植えたのですが、それがまたたく間に庭一面に広がり、すでに庭一面を覆っていたオオバコと競うようになり、少しくらい抜き取っても、すぐに数倍になって生えてきます。

飲水思源

だから、初めのうちは腹を立てて引き抜いていましたが、いつのまにか、自分の心の中にあるぐちゃぐちゃした雑草のようなものが、同時に取り去られていることに気付きました。そしてとてもさわやかな気分になるのです。これですっかりあの大西良慶さんに感謝しました。

それからさらに四〇年近く経ち、家事をするようになり、私が家族に気付かれないような、ちょっとした心づかいをして、悦に入ることがあります。この心も、大西良慶さんの置きた土産だとわかりました。あんな方だったから百歳を超えるまで生きられたんでしょう。

認もしながらやっていきたいと思えます。

川柳

南珀抄② 小澤 幸泉
 噛み切れぬ人生の味 噛みしめる
 憲法を変える政治が恐ろしい
 悲しみを心に秘める厚化粧
 冬の海喜怒哀楽を飲み尽す

俳句



4月16日(土)
 いの町鹿敷 土佐和紙工芸村 合田 青幹

借景は滴る山や紙の村 大土佐へ雨呼ぶ雲や穀雨来る
 小笠原さちを
 もこゝと山巒重ね山笑ふ
 一行は棚田の春に散らばりて
 4月13日(土)
 香南南 夜須町手結 吉本 伸秋

跳ね橋の斜に切る山初つばめ
 潮満つるけはひに胎貝潮を吹く

5月18日(土)

高知市長浜若宮八幡宮・桂浜 合田 青幹
 扁額は金泥の文字 宮薄暑
 玉苗や儀式田といふ一畝町
 吉本 伸秋

新樹光大身の槍の切つ先に
 出蜻蛉の破風にわくら葉
 舞ひ連るる
 小笠原さちを

波集め潮騒岬花海桐

薫風や斗酒傾けん桂月碑

短歌

紫紅の牡丹花 榊原忠彦
 弥太さんと隆一さんは心安し
 優美な書風の詩人でありぬ
 (岡本弥太と中村伝喜先生)

植うる穴腰痛くして浅かりし
 に紫紅の牡丹花芽出でしよ
 大小の置き石それぞれ落ち着ける
 間に若葉は茂みさびゆけり

叶岡さんの朗読 山本晶子
 煮洗いせしふきは白し今日も
 また良き日にしたし齋を払いて
 新しき服を買うこともうやめん
 老いたれば物の少なきがよし

叶岡さんの朗読聞きて涙にじむ
 「わが戦後の日々」拙文なれど
 (戦争を語り継ぐ朗読会)

「九条電車」 叶岡淑子
 色あせぬ黄色の表紙『あたらしい憲法のはなし』今こそ宝
 前文も九条・九十九条も熱く語りし高退協総会

わが街を「九条電車」が今日も行く 人類普遍の願いを乗せて
 (訂正) 前号、山本さんの二首目「斎藤」は「斎藤」でした。お詫びして訂正します。